

不祥事を起こさない学校づくりを目指して

不祥事^{ゼロ}リーフレット

きっと、

みなさんは、「すべては子どもたちのために」を合言葉に、日々、児童生徒と向き合い、よりよい学級・学校づくりのために、惜しみない「努力」をされていると思います。

そして、

みなさんは、児童生徒の成長を糧に、ひとつひとつ「努力」を積み重ね、その熱意と愛情が、児童生徒、そして保護者・地域の方々の「信頼」へと結びついていると考えます。

ところが、

教職員の不祥事が後を絶ちません。不祥事を起こすことで、積み重ねてきた「信頼」が一瞬で壊れてしまいます。リーフレットの内容を自分のこととしてとらえて行動しましょう。

不祥事^{ゼロ}作戦

1. 飲酒運転

朝まで残るアルコール、一生残る家族の不幸

2. 体罰防止

カッときても、6秒まって、チームで対応

3. わいせつ行為

みだらな行為、失う信頼

振り返り

自分の職場は大丈夫ですか？
自分の同僚を守っていますか？

月
日
曜日



もうなくそう・なくしたい

教職員の不祥事

信じられない・信じたくない

教職員の不祥事や飲酒運転が後を絶たない

(新聞報道等の一部抜粋)

飲酒運転

朝まで残るアルコール、一生残る家族の不幸

免職

居酒屋等で地区合同学習会の慰労会に参加し飲酒した後、帰宅の際に自家用車を運転し男性をはねた。被害者の男性は事故翌日に死亡した。

停職6ヶ月

午後8時から午後10時30分頃まで、自宅で泡盛を約3合飲酒して就寝した。

翌日午前8時7分頃、自宅から自家用車を運転して出勤する途中、パトロール中の警察官の求めに応じてアルコール検査を受けたところ、呼気1リットルあたり0.39mgのアルコールが検出され、酒気帯び運転で検挙された。

体罰

カッときても、6秒まって、チームで対応

停職3ヶ月

合唱コンクールの練習終了後のミーティングの際、練習に対して不満を示した生徒に対し、足を蹴り胸ぐらをつかまえ、頬を殴るという体罰を行った。

減給

家庭学習(がんばりノート)をやらない生徒に対し、棒で当該生徒の左足大腿部をたたくという体罰を行った。また、複数の生徒に対し合計15回程度、授業においても宿題をやらなかった1名の生徒に対し1回、体罰を行った。

わいせつ行為

みだらな行為、失う信頼

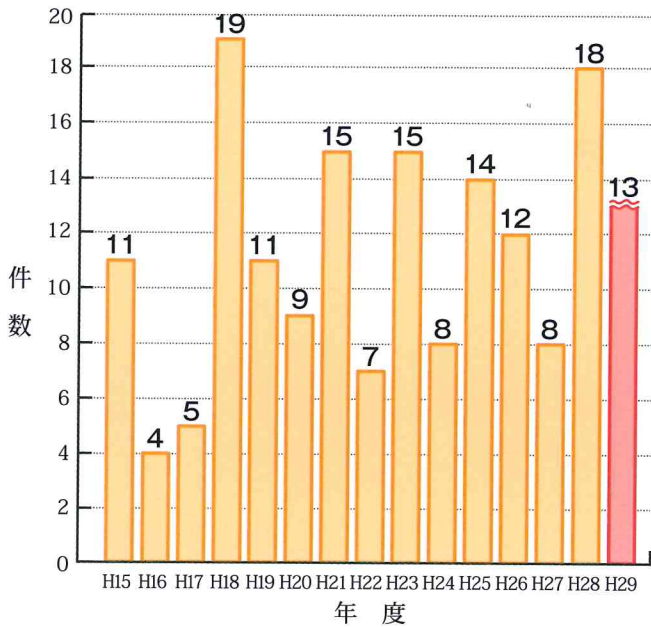
免職

ホテルにおいて、携帯電話の掲示板で知り合った14歳の女子中学生に現金1万円を渡してみだらな行為をしたとして逮捕された。

駐車場で駐車中の車両内において、携帯電話のコミュニティーサイトで知り合った女子中学生(14歳)にみだらな行為をしたことにより、「沖縄県青少年保護育成条例(みだらな行為)違反」で逮捕された。

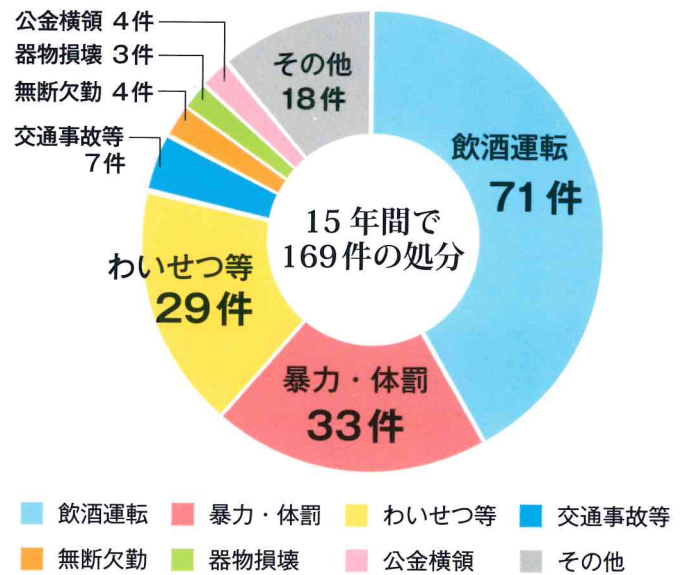
教職員の懲戒処分年度別推移

平成15年度～29年度(8月現在)



不祥事の内訳(件数)

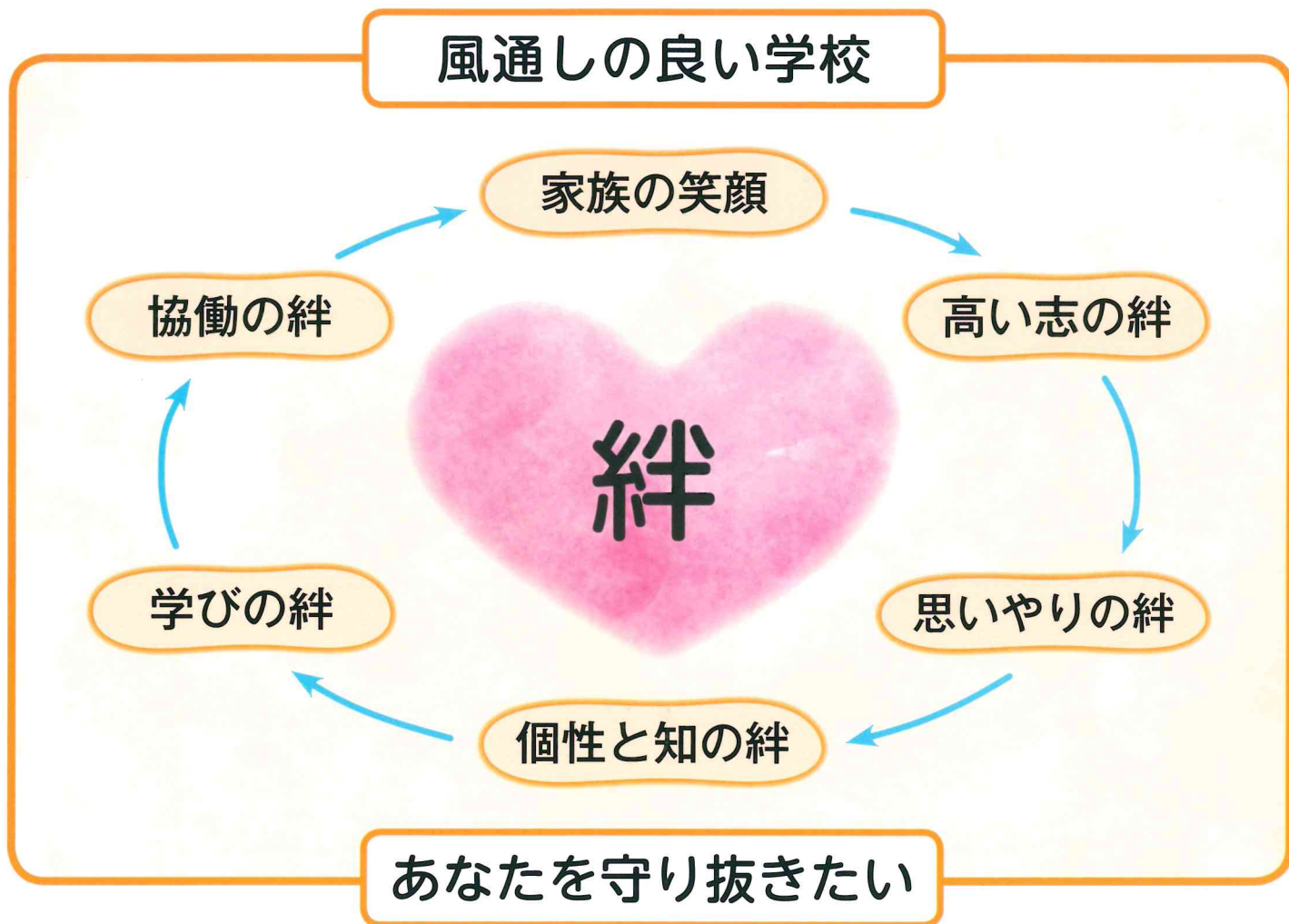
平成15年度～29年度(8月現在)



沖縄県教育委員会懲戒処分の基準

		処分の種類			
		免職	停職	減給	戒告
交通事故・交通法規違反	飲酒運転(酒酔い、酒気帯び)での人身事故	●			
	飲酒運転以外での人身事故				
	・死亡又は重篤な障害	●	●	●	
	・措置義務違反あり	●	●		
	・傷害			●	●
	・措置義務違反あり		●	●	
	交通法規違反				
	・酒酔い運転	●			
	・酒気帯び運転	●	●		
	・著しい速度超過等の悪質な交通法規違反		●	●	
飲酒運転(酒酔い、酒気帯び)を教唆又は幫助	飲酒運転(酒酔い、酒気帯び)を教唆又は幫助				
	・教唆	●			
	・幫助		●		
体罰関係	児童生徒に対する体罰等の行為				
	・児童生徒が重傷を負った場合	●	●		
	・児童生徒が軽傷を負った場合		●	●	
	・上記以外の体罰				●
セクシャル・ハラスメント	強制わいせつ、上司等の影響力利用による性的関係・わいせつな行為	●	●		
	意に反することを認識の上での性的言動の繰り返し		●	●	
	執拗な繰り返しにより強度のストレスの重責による精神疾患に罹患	●	●		
	意に反することを認識の上での性的言動			●	●
	痴漢行為	●	●	●	

資料提供：沖縄県教育委員会



「五つの  絆」で

教職員・家族を守り抜く学校へ!

「高い志の絆」

「高い志の絆」で家族、笑顔、生活を守り抜く素直、誠実、対等でストレスフリーな学校へ

「思いやりの絆」

「思いやりの絆」で築く「チーム学校」へ個々の力を結集し最高の学校へ

「個性と知の絆」

「個性と知の絆」で「効果のある学校」へ教育理論と実践力のある専門家集団へ

「学びの絆」

「学びの絆」で成長を実感する魅力的な教室へスモールステップで成長を実感する授業へ

「協働の絆」

「協働の絆」で信頼される学校へ協働できる良好な人間関係構築へ